

平成26年度前期 学生による授業評価アンケート集計結果

1. アンケート実施概要

(1) 目的

授業評価アンケートは、次の①～③を基本原則とし、本学の教育の質・教育効果を向上させることを目的として実施した。

- ① カリキュラムの改善につなげる
- ② 授業の改善につなげる
- ③ 透明性を高める

(2) 実施期間

平成26年7月11日(金)～8月7日(木) (※集中講義は別途実施)

(3) 実施科目

アンケート実施率は93.7%(昨年度同期93.5%)で、回答率は78.6%(昨年度同期79.5%)であった。

科目区分	開講科目	実施対象科目	実施科目	アンケート実施率	アンケート実施科目			※ 昨年度同期回答率
					受講登録者数	回答数	回答率	
環境科学部	108	103	91	88.3%	5,422	3,480	64.2%	73.6%
工学部	90	90	89	98.9%	4,979	3,713	74.6%	75.7%
人間文化学部	150	145	133	91.7%	4,631	3,676	79.4%	77.4%
人間看護学部	40	34	34	100.0%	1,991	1,725	86.6%	92.6%
全学共通教育	240	235	223	94.9%	6,493	5,862	90.3%	89.0%
人間学	29	29	26	89.7%	2,819	2,240	79.5%	68.9%
合計	657	636	596	93.7%	26,335	20,696	78.6%	79.5%

*アンケート実施率は、実施対象科目に対する実施率を表す。

*開講科目から実習等の科目を除き、実施対象科目としている。

*全学共通教育の開講科目のうち、国際コミュニケーション学科の英語 I～IVのa.bはそれぞれ2人の教員で担当しているため、計16科目で計算している。

(4) 設問内容

設問1 授業開講時に、担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。

- ①まったく説明されなかった
- ②あまり説明されなかった
- ③ほぼ説明された
- ④しっかりと説明された

設問2 授業の流れは、理解が進むようよく整理されていましたか。

- ①まったく整理されていなかった
- ②あまり整理されていなかった
- ③ほぼ整理されていた
- ④よく整理されていた

設問3 授業の進み具合は適切な速さでしたか。

- ①まったく適切でなかった
- ②あまり適切でなかった
- ③ほぼ適切だった
- ④とても適切だった

設問4 教員は学生とコミュニケーションをとるように努めましたか。

- ①まったくとっていなかった
- ②あまりとっていなかった
- ③ほぼとっていた
- ④とても積極的にとっていた

- 設問5 教員の声や話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。
①まったく聞き取れなかった ②あまり聞き取れなかった ③ほぼ聞き取りやすかった
④とても聞き取りやすかった
- 設問6 視覚情報(板書の記載、プロジェクターの表示など)は見やすく、質・量ともに適切でしたか。
①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
⑤あてはまらない
- 設問7 テキストや講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。
①まったく役立たなかった ②あまり役立たなかった ③ある程度役立った ④とても役立った
⑤あてはまらない
- 設問8 教員は授業期間内に、テストやレポート、質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。
①まったく確認していなかった ②あまり確認していなかった ③ほぼ確認していた
④よく確認していた
- 設問9 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して、適切な対応を行いましたか。
①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
⑤あてはまらない
- 設問10 総合的にみて教え方は適切でしたか。
①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
- 設問11 この授業にどれだけ出席しましたか。
①4回以上欠席 ②3回欠席 ③2回欠席 ④1回欠席 ⑤すべて出席
- 設問12 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか。
①ほぼ0分 ②30分未満 ③30分～1時間 ④1時間以上
- 設問13 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。
①まったく達成できなかった ②あまり達成できなかった ③ほぼ達成できた ④よく達成できた
⑤到達目標が示されていない・自覚していない
- 設問14 この授業は全体として満足できるものでしたか。
①まったく満足できなかった ②あまり満足できなかった ③ほぼ満足できた
④とても満足できた
- 設問15 この授業を受けて、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いましたか。
①まったく思わなかった ②あまり思わなかった ③ある程度思った ④強く思った

【設問16～19は実習・演習科目用】

- 設問16 実習・演習に使用する用具や備品などの準備は適切でしたか。
①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
⑤あてはまらない
- 設問17 実習・演習の教員やTAの補助や対応は適切でしたか。
①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
⑤あてはまらない

設問18 学生の実習・演習の進め方(進行状況)や理解度について、教員やTAは適切に確認をしましたか。

- ①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
⑤あてはまらない

設問19 あなたは、この実習・演習に必要な準備を行いましたか。

- ①まったくしなかった ②あまり行わなかった ③ほぼ行った ④十分行った ⑤あてはまらない

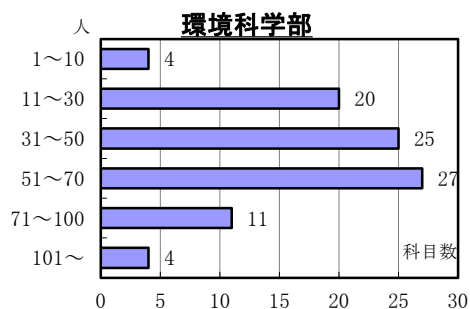
※このほかに自由記述あり

2. アンケートの集計結果

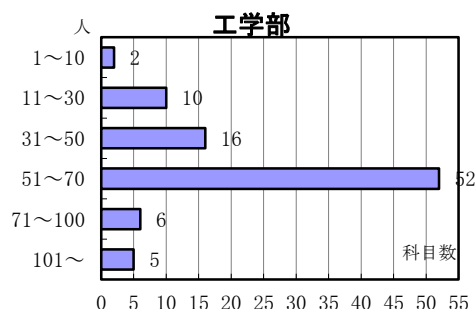
(1) 平均ポイント (学部等別)

アンケート項目	環境	工	人文	人看	全共	人間学	全学
Q1.授業の進め方・目標・成績評価の説明	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.3	3.3
Q2.授業の流れの整理	3.2	3.2	3.2	3.3	3.3	3.2	3.2
Q3.授業の進む速さ	3.2	3.1	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2
Q4.学生とのコミュニケーション	3.0	2.9	3.1	3.3	3.4	2.9	3.1
Q5.声・話し方	3.3	3.2	3.3	3.3	3.4	3.2	3.3
Q6.視覚情報	3.1	3.1	3.1	3.2	3.3	3.2	3.2
Q7.テキスト・講義資料	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3
Q8.学生の理解度の確認	3.2	3.2	3.1	3.2	3.3	3.0	3.2
Q9.迷惑行為に対する対応	3.1	3.2	3.2	3.3	3.2	3.1	3.2
Q10.総合的に見た教え方	3.2	3.1	3.3	3.3	3.4	3.2	3.3
Q11.授業への出席	3.4	3.5	3.3	3.9	3.6	3.5	3.5
Q12.毎週の学習時間	2.1	2.4	1.8	2.3	2.1	1.7	2.0
Q13.到達目標の達成度	2.8	2.8	2.8	3.0	2.9	2.9	2.9
Q14.授業の満足度	3.0	3.0	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1
Q15.継続して学びたくなったか	3.0	3.0	3.0	3.2	3.1	2.9	3.0
Q16.用具や備品の準備	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.3	3.4
Q17.教員やTAの対応	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.3	3.4
Q18.学生の進行状況の確認	3.2	3.3	3.4	3.3	3.3	3.1	3.3
Q19.(学生が)準備を行ったか	3.1	3.1	3.3	3.2	3.1	3.0	3.1

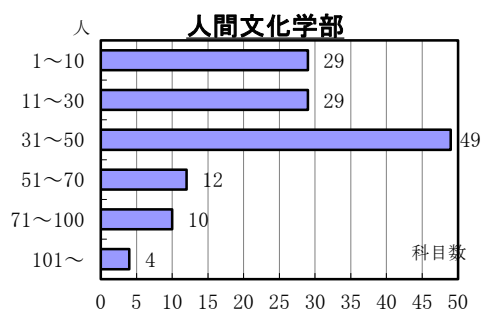
※ 参考（科目別受講登録者数の状況）



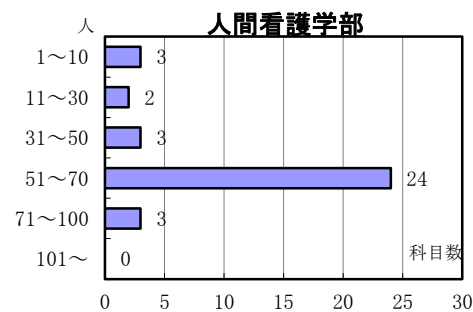
- 平均履修登録者数 49.7人
(H24:48.7人)(H25:49.1人)／科目



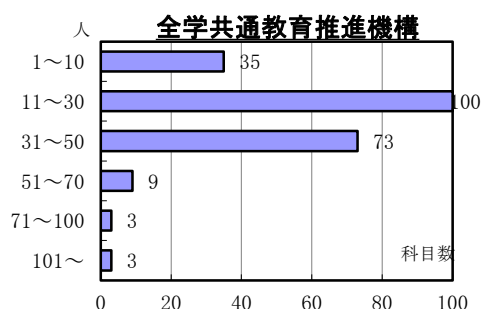
- 平均履修登録者数 54.7人
(H24:55.2人)(H25:55.9人)／科目



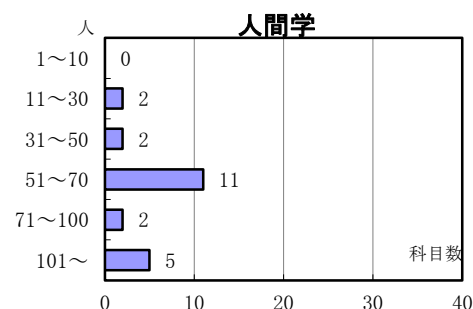
- 平均履修登録者数 34.8人
(H24:43.3人)(H25:40.1人)／科目



- 平均履修登録者数 56.9人
(H24:57.2人)(H25:59.7人)／科目



- 平均履修登録者数 29.1人／科目
(H24:26.5人)(H25:29.0人)／科目



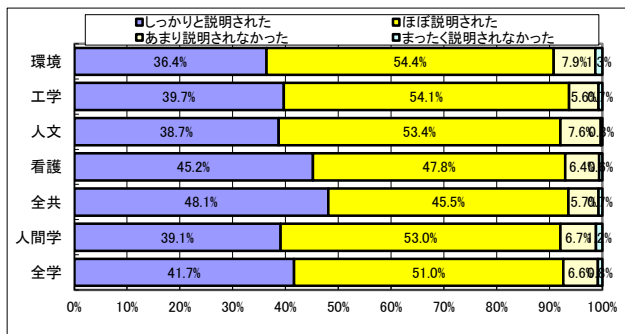
- 平均履修登録者数 128.1人
(H24:108.1人)(H25:105.6人)／科目

1科目あたりの履修登録者数の平均は、環境科学部・全学共通教育推進機構・人間学では増加し、その他では減少している。人間文化学部では、30人以下の授業が約44%ある。

なお、履修登録者数が10人以下の科目は、全学で73科目(H24:45科目,H25:71科目)と年々増加している。特に、人間文化学部(25科目→29科目)と全学共通教育(30科目→35科目)で増加している。

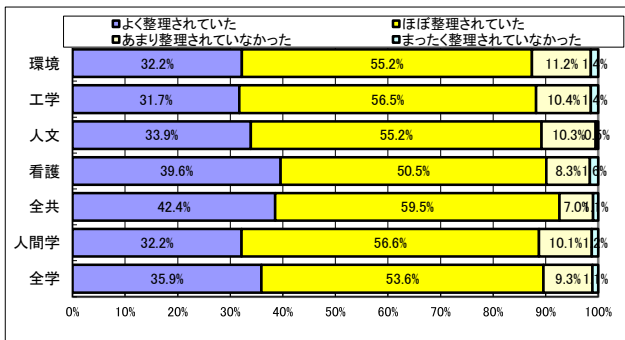
(2) 項目別結果 — 学部等別 —

設問1 授業開講時に、担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。



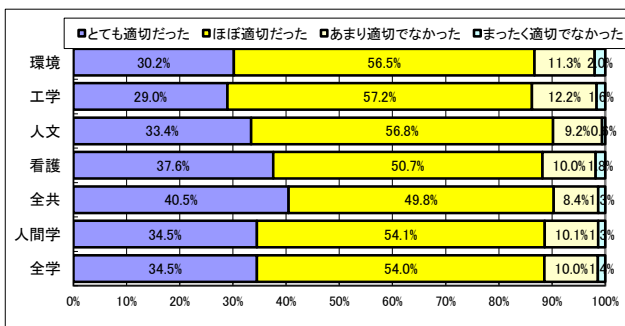
全学平均では9割以上の科目で「しっかりと説明された」「ほぼ説明された」と回答している。
どの学部でも否定的な回答は1割未満で少なかった。

設問2 授業の流れは、理解が進むようよく整理されていましたか。



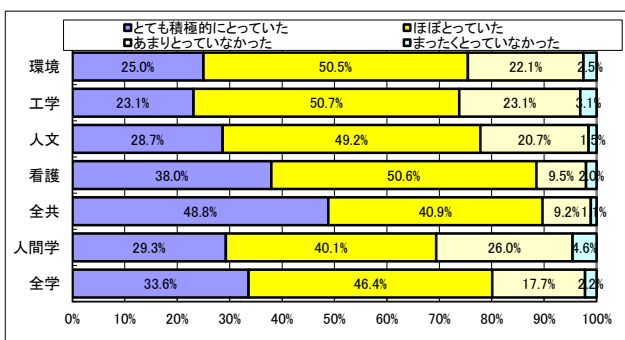
全学の85%以上の科目で「よく整理されていた」「ほぼ整理されていた」と回答している。特に、人間看護学部と全学共通教育推進機構の科目では否定的な回答が1割に満たない。

設問3 授業の進み具合は適切な速さでしたか。



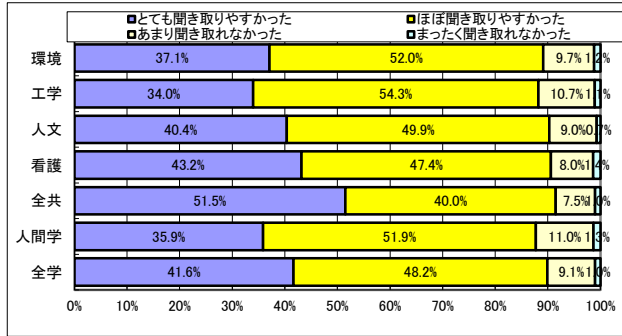
全学平均では、85%超が「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。なかでも、全学共通教育推進機構の科目では「とても適切だった」という回答が他の学部と比較して高くなっている。

設問4 教員は学生とコミュニケーションをとるように努めましたか。



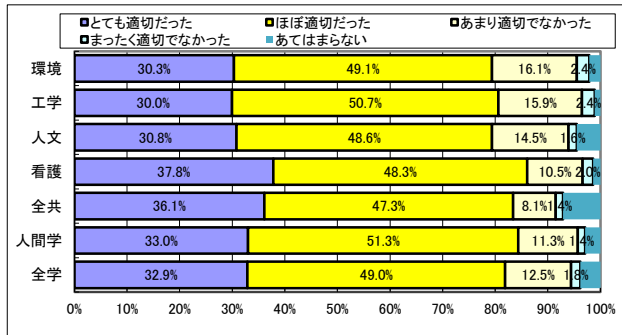
学部ごとに結果の偏りが見られる。
人間看護学部と全学共通教育推進機構の科目では、「とても積極的にとっていた」「ほぼとっていた」との回答が9割程度ある。一方、その他の科目では8割を切っており、特に人間学では7割程度とやや低い値となっている。

設問5 教員の声や話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。



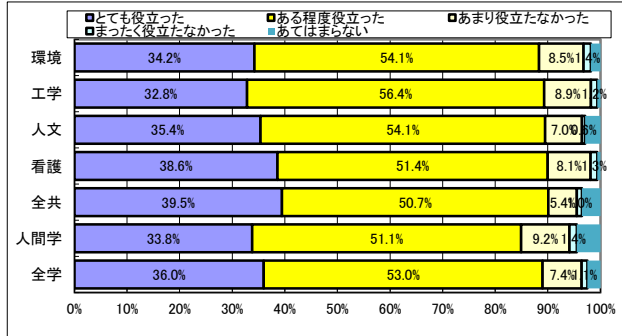
教員の声や話し方について、学部間に大きな差はなく、9割程度の科目で「とても聞き取りやすかった」「ほぼ聞き取りやすかった」と回答している。
特に全学共通教育推進機構の科目では、過半数が「とても聞き取りやすかった」と回答しており、満足度が高いことがうかがえる。

設問6 視覚情報(板書の記載、プロジェクターの表示など)は見やすく、質・量ともに適切でしたか。



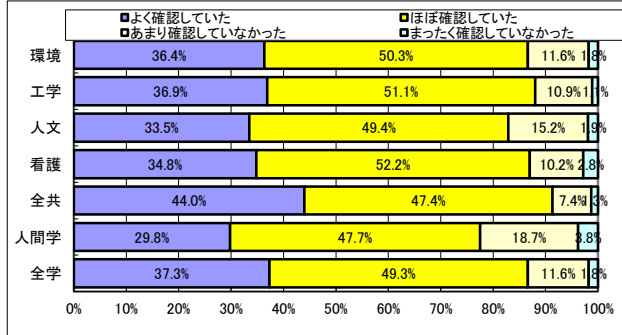
全学を平均すると8割程度の科目で「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。
ただし、環境科学部・工学部・人間文化学部の科目については「あまり適切でなかった」「まったく適切でなかった」の他の学部と比較してやや高くなっている。

設問7 テキストや講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。



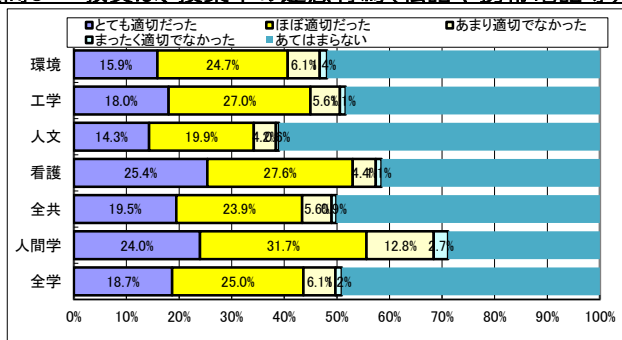
9割程度の科目で「とても役立った」「ある程度役立った」と回答している。
一方、人間学では、他の科目と比較すると「あまり役立たなかった」「まったく役立たなかった」の割合が高くなっている。

設問8 教員は授業期間内に、テストやレポート、質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。



全学を平均すると約85%が「よく確認していた」「ほぼ確認していた」と回答している。
学部ごとにややばらつきがあり、全学共通教育推進機構では肯定的な回答が9割を超えるのに対して、人間文化学部と人間学では「あまり確認していなかった」「まったく確認していなかった」の回答がやや高くなっている。

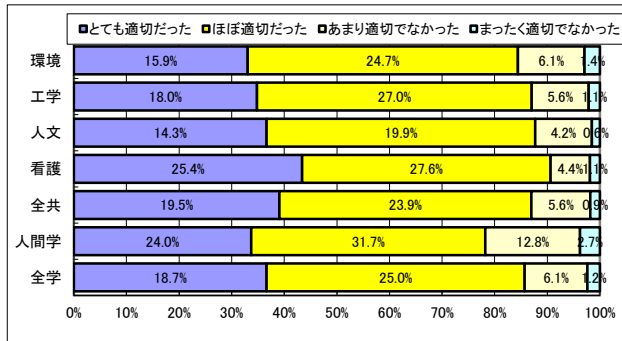
設問9 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して、適切な対応を行いましたか。



今年度から選択肢を見直し、「あてはまらない」を選択できるようにしたところ、全学で約5割が「あてはまらない」と回答している。

また、人間看護学部と人間学では「とても適切だった」「まあ適切だった」という回答がたと比較して高く、授業中の迷惑行為に対して適切に対応されていると思われる。

設問10 総合的にみて教え方は適切でしたか。

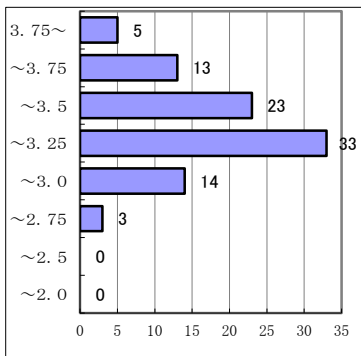


教員の教え方について、8割を超える学生に満足が得られていたと思われる。また、人間学では「あまり適切でなかった」「まったく適切でなかった」の割合が昨年度に続き、やや高くなっている。

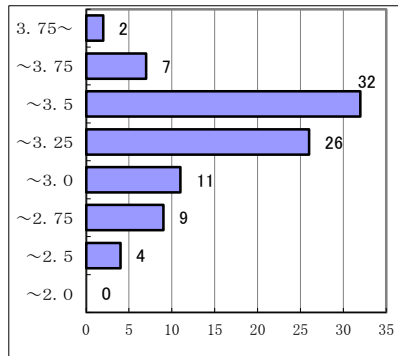
※ 設問10「教員の教え方は適切か」についての区分別分布

※ 縦軸:ポイント 横軸:科目数

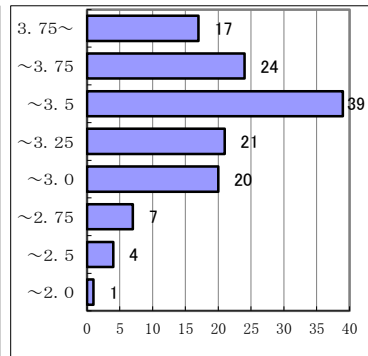
①環境科学部 (平均3.3)



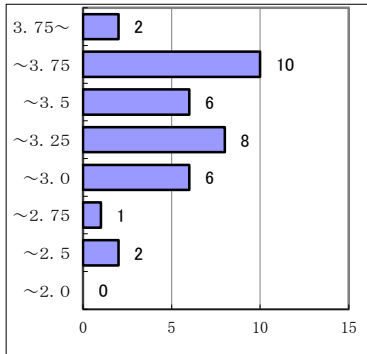
②工学部 (平均3.2)



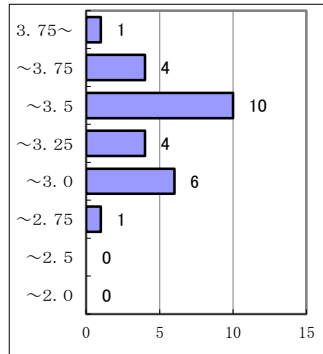
③人間文化学部 (平均3.3)



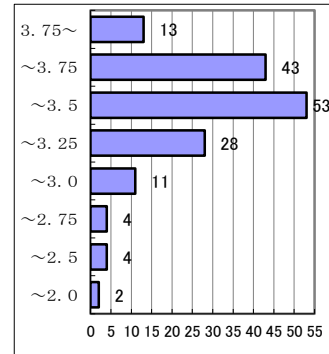
④人間看護学部 (平均3.3)



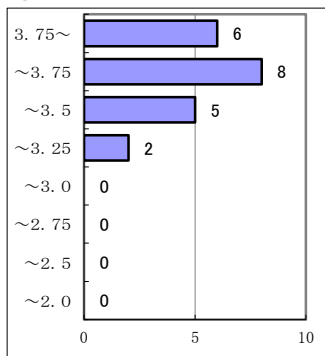
⑤人間学 (平均3.3)



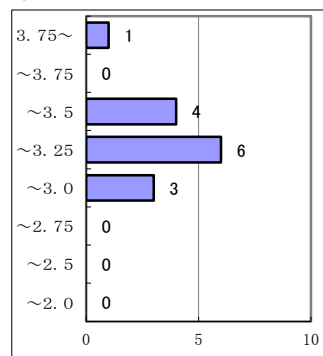
⑥語学 (平均3.4)



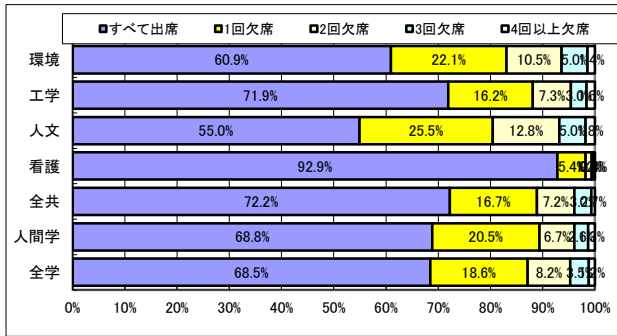
⑧健康・体力科学 (平均3.6)



⑨情報 (平均3.2)

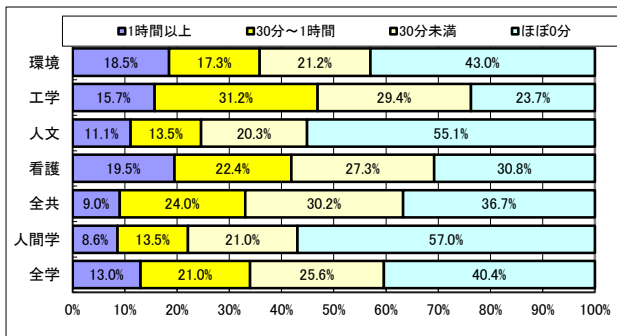


設問11 この授業にどれだけ出席しましたか。



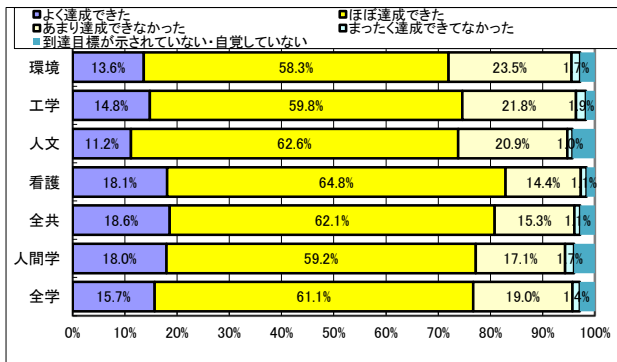
全学平均では「すべて出席」の科目が6割を超えており、例年同様人間看護学部の出席率が高い。
 分布については、全体としてあまり変化はない。
 昨年度、人間文化学部で3回以上欠席は1割を超えていたが、今年度は改善されている。

設問12 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか。



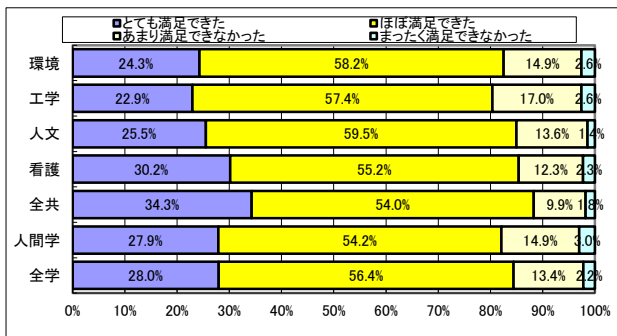
全学平均で「ほぼ0分」の割合が4割を超えている。
 一方、「1時間以上」「30分~1時間」の各学部の割合は以下の通り。
 環境 H25前 30.6% → H26前 35.8%
 工学 H25前 27.9% → H26前 46.9%
 人文 H25前 17.8% → H26前 24.6%
 看護 H25前 31.7% → H26前 41.9%
 全共 H25前 22.9% → H26前 33.0%
 人間学 H25前 19.5% → H26前 22.1%
 全学 H25前 24.5% → H26前 34.0%

設問13 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。



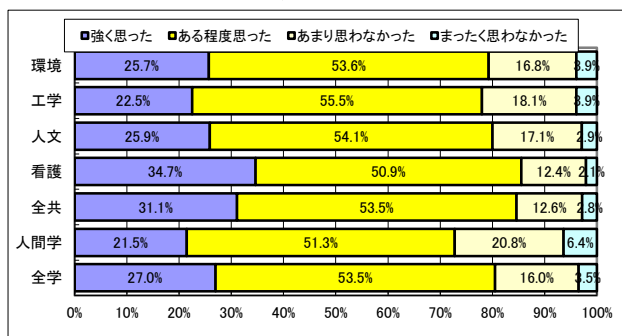
全学平均で7割超の科目で達成できたと回答している。
 特に人間看護学部と全学共通教育推進機構においては8割を超えており、学生の達成感が高いことがうかがえる。

設問14 この授業は全体として満足できるものでしたか。



全学平均で、8割超が「とても満足できた」「ほぼ満足できた」と回答している。
 一方で、環境科学部・工学部・人間学では他と比較して、「あまり満足できなかった」「まったく満足できなかった」の割合がやや高くなっている。

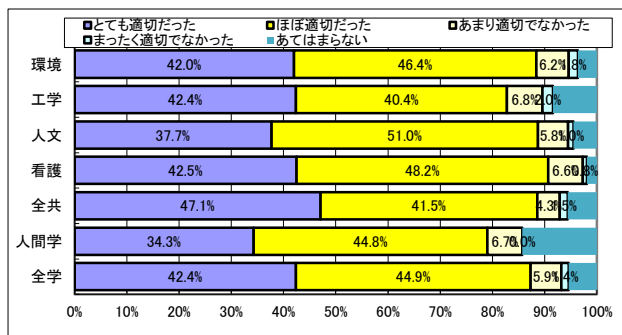
設問15 この授業を受けて、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いましたが。



全学平均でみると、7割超が「強く思った」「ある程度思った」と回答している。特に、人間看護学部と全学共通教育推進機構においては、他の学部と比較して割合が高くなっている。

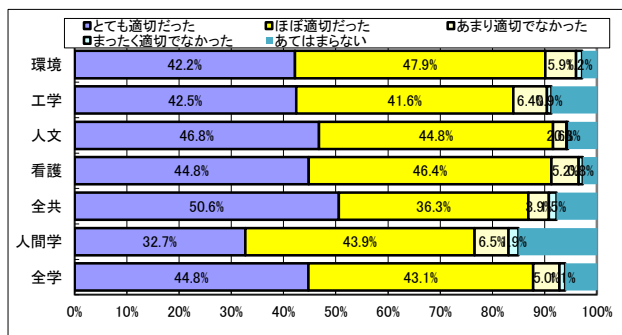
【設問16～設問19は実習・演習科目受講者のみ回答】

設問16 実習・演習に使用する用具や備品などの準備は適切でしたか。



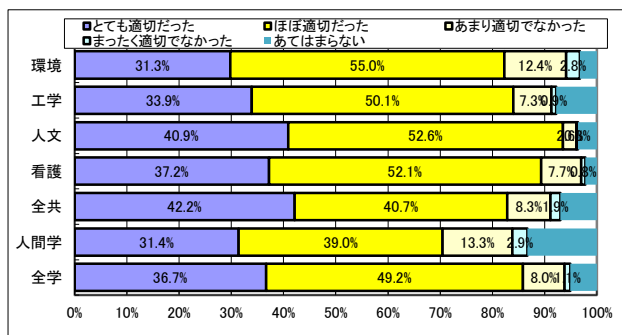
実習・演習で使用する用具や備品の準備について「とても適切だった」「やや適切だった」とする回答は全学平均で9割近い回答となっている。否定的な回答については学部間であまり偏りはなく、1割未満となっている。

設問17 実習・演習の教員やTAの補助や対応は適切でしたか。



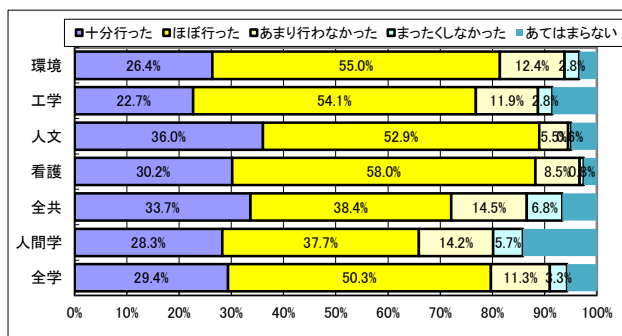
教員やTAの補助について、人間学を除いて8割から9割が「とても適切だった」「まあ適切だった」と回答している。

設問18 学生の実習・演習の進め方(進行状況)や理解度について、教員やTAは適切に確認をしましたか。



学生の実習・演習の進行状況や理解度について、教員やTAの確認について、人間学を除いて、8割から9割が「とても適切だった」「まあ適切だった」と回答している。環境科学部と人間学においては、「あまり適切でなかった」「まったく適切でなかった」が他の学部と比較して、ポイントがやや高くなっている。

設問19 あなたは、この実習・演習に必要な準備を行いましたか。



学生が実習・演習に向けて準備を行ったかという問いに対して、回答は学部ごとに偏りが見られる。

人間文化学部・人間看護学部では9割程度が「十分行った」「ほぼ行った」と回答しているが、その他の学部では、「あまり行わなかった」「まったくしなかった」という回答が1割以上あった。

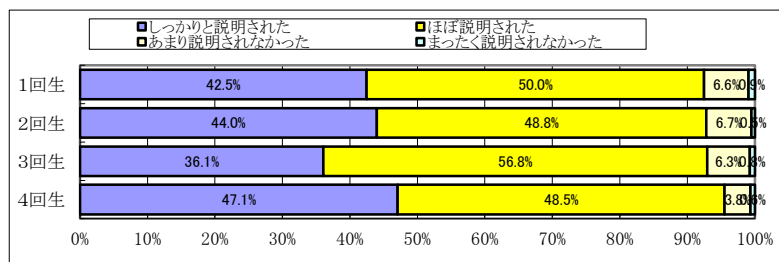
(4) 学生属性(学年別)の集計

	環境	工	人文	看護	計
1回生	2,204	2,330	2,695	836	8,065
2回生	1,799	1,565	2,362	888	6,614
3回生	1,345	1,226	1,230	758	4,559
4回生	192	212	270	116	790
合計	5,540	5,333	6,557	2,598	20,028

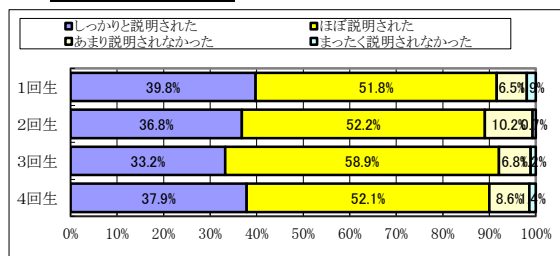
※ その他(回答数:668)は大学院生
または学部・学年が不明

Q1 授業の進め方、目標、成績評価基準についての説明

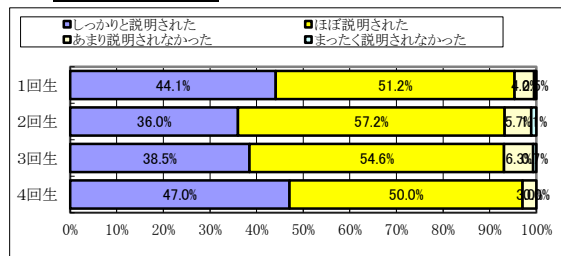
全学



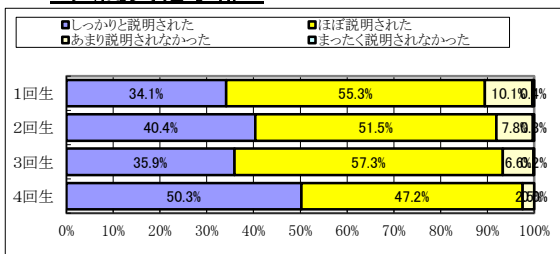
環境科学部



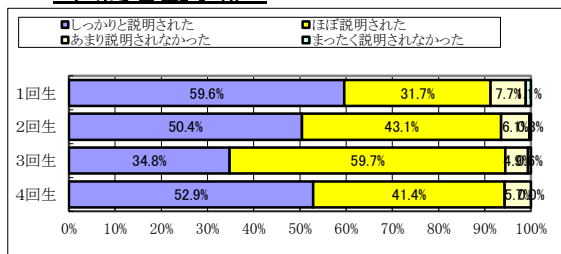
工学部



人間文化学部



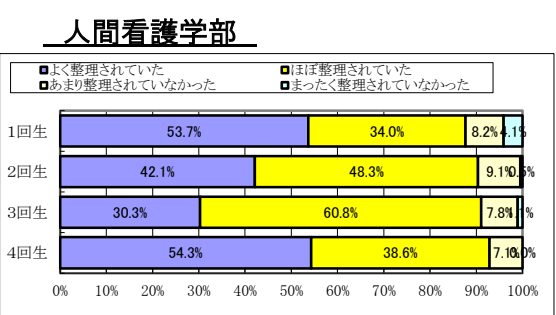
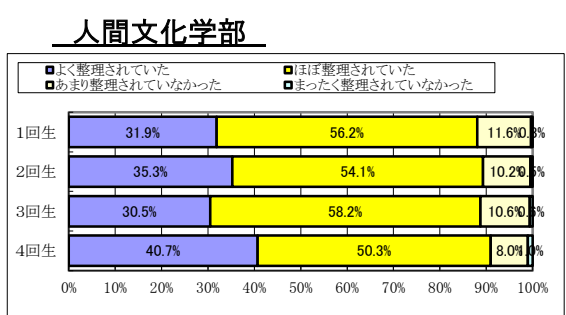
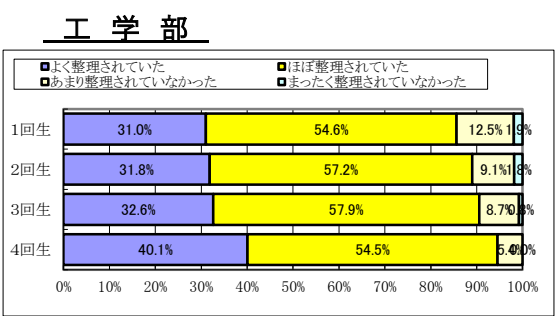
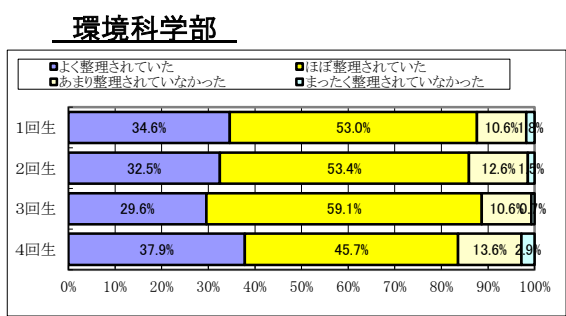
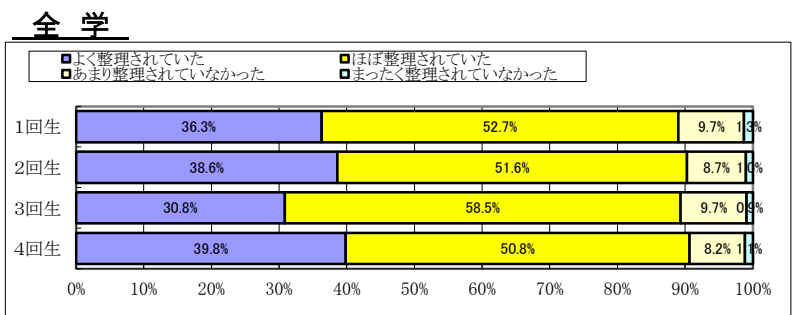
人間看護学部



学部間でも大きな偏りはなく、9割程度が「しっかりと説明された」「ほぼ説明された」と回答している。

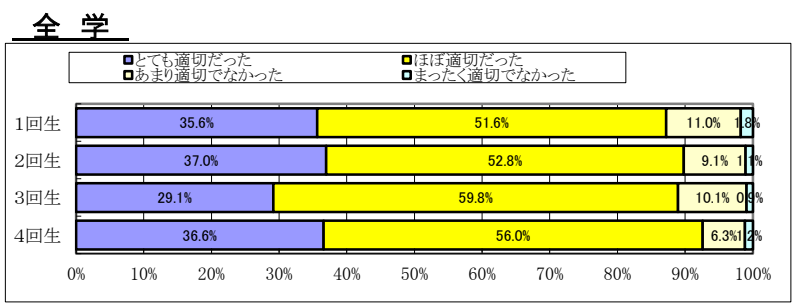
しかし、少ないながらも「あまり説明されなかった」「まったく説明されなかった」との回答もあることから、各学部においては、講義概要等の内容を点検し、改善していくことが求められる。

Q2 授業の流れは理解が進むよう整理されていたか

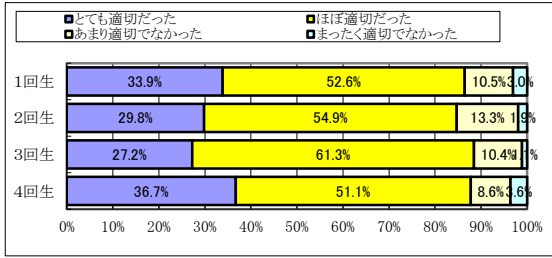


環境科学部を除く3学部では、否定的な回答は学年が進行するにつれて減少しているが、環境科学部では学年が進行するにつれてやや増加する傾向みられた。

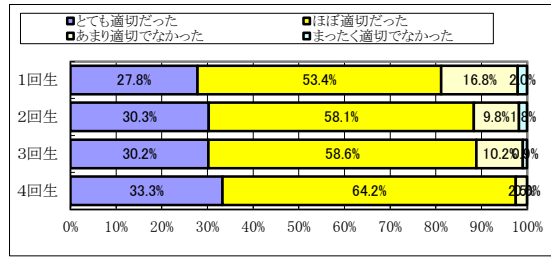
Q3 授業の進み具合は適切な速さか



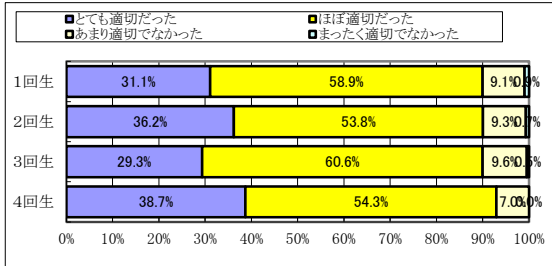
環境科学部



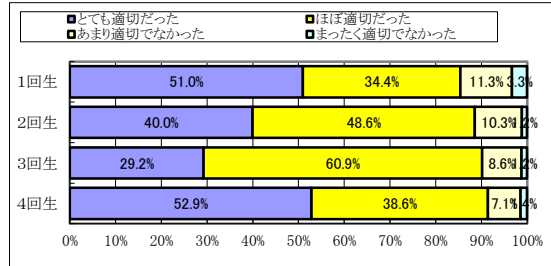
工学部



人間文化学部



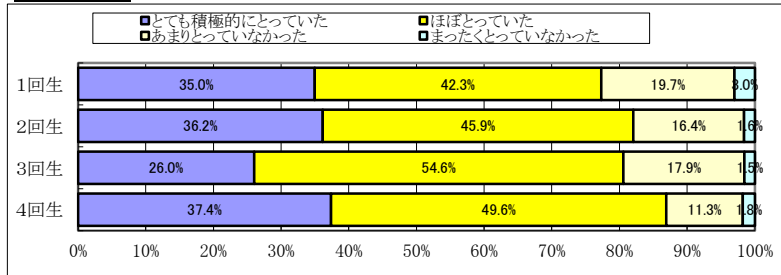
人間看護学部



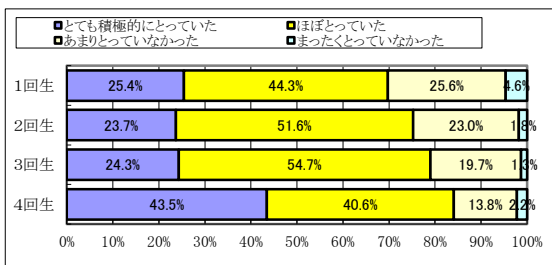
授業の進行速度について、全学平均で9割程度が「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。また、学年進行にあわせて、否定的な回答は減少する傾向にある。

Q4 学生とのコミュニケーション

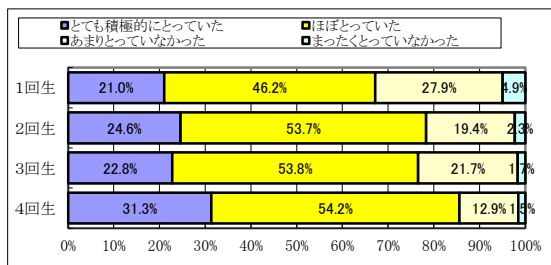
全学



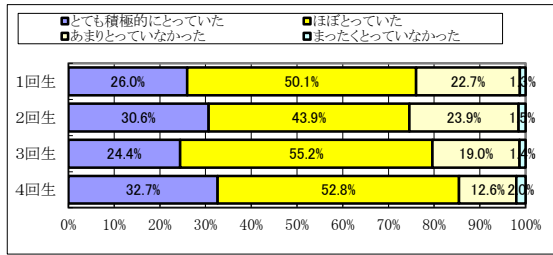
環境科学部



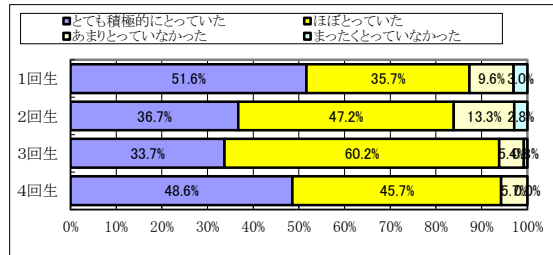
工学部



人間文化学部



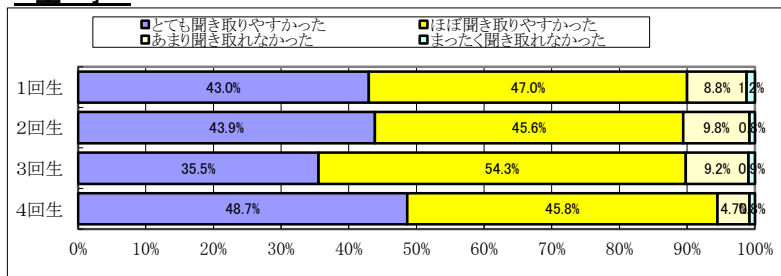
人間看護学部



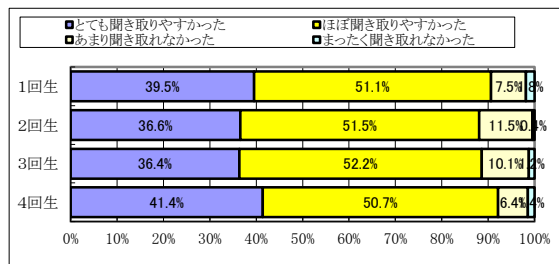
学部間でやや偏りがあり、人間看護学部では否定的な回答が少なく、平均で9割程度が「とても積極的にとっていた」「ほぼとっていた」と回答しているが、1、2回生では否定的な回答がやや多くなっている。一方で、人間看護学部を除く3学部では、1、2回生では3割程度が否定的な回答をしているが、学年が進行するにつれて、「とても積極的にとっていた」「ほぼとっていた」と回答する割合が高くなっている。

Q5 声・話し方

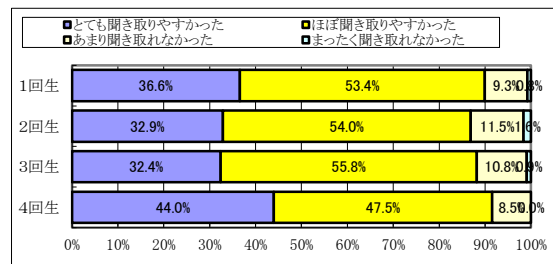
全学



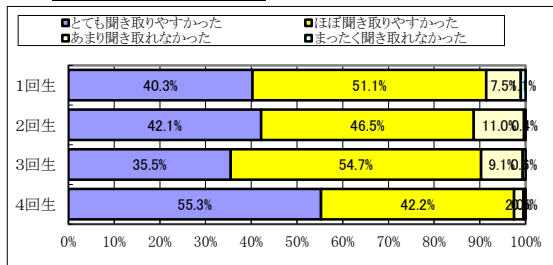
環境科学部



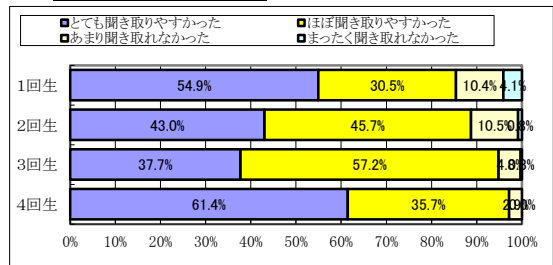
工学部



人間文化学部

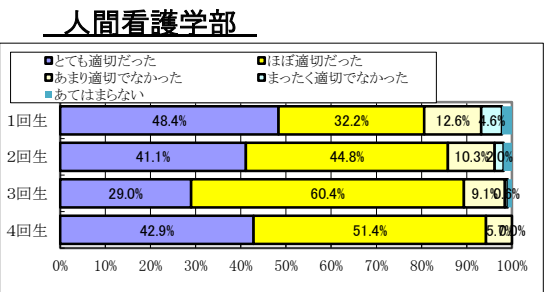
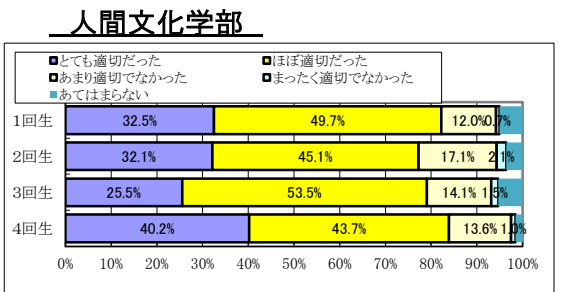
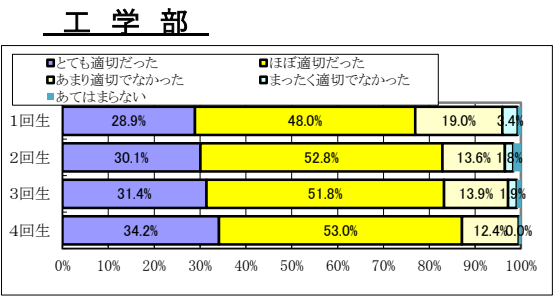
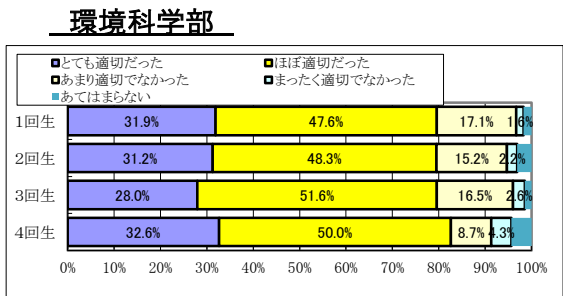
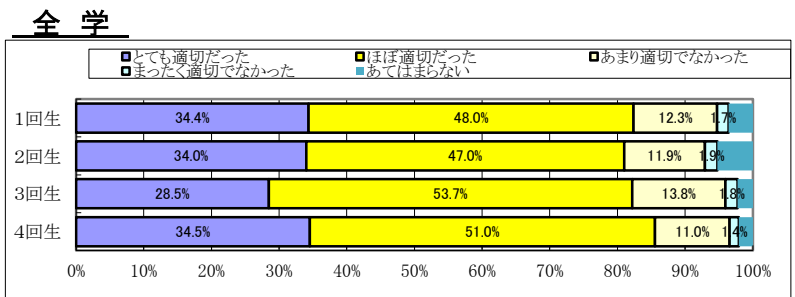


人間看護学部



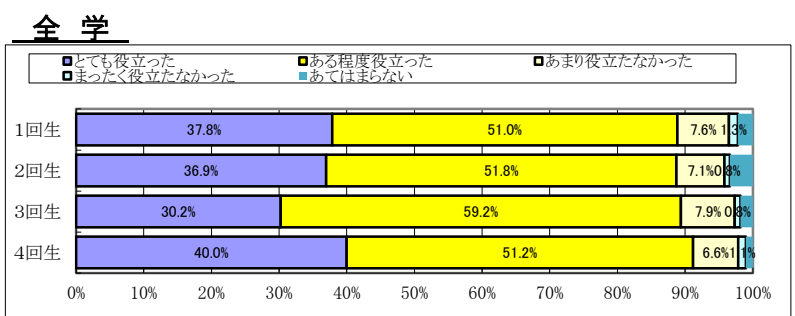
教員の声の大きさや話し方について、全学で見ると、9割程度が「とても聞き取りやすかった」「ほぼ聞き取りやすかった」と回答している。学年が進行していくにつれて、否定的な回答は少なくなっていく傾向がある。

Q6 視覚情報(板書・プロジェクター等)

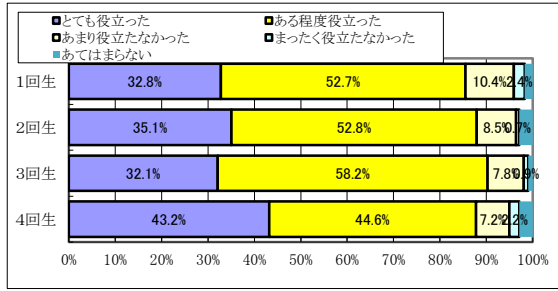


学部間での大きな偏りはなく、8割程度が「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。特に、人間看護学部での満足度は他の学部と比較すると高くなっている。

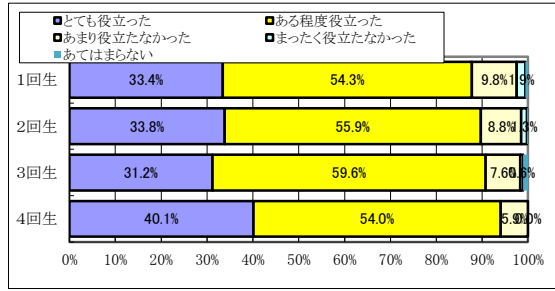
Q7 テキスト・講義資料



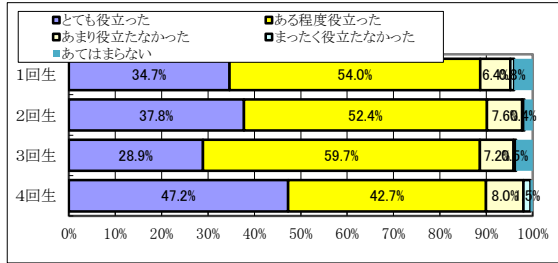
環境科学部



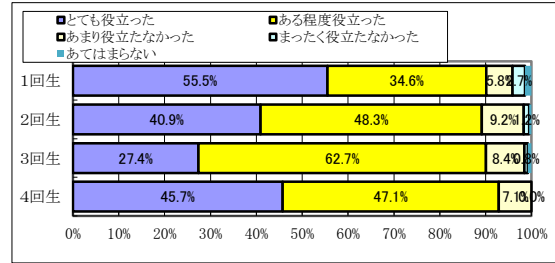
工学部



人間文化学部



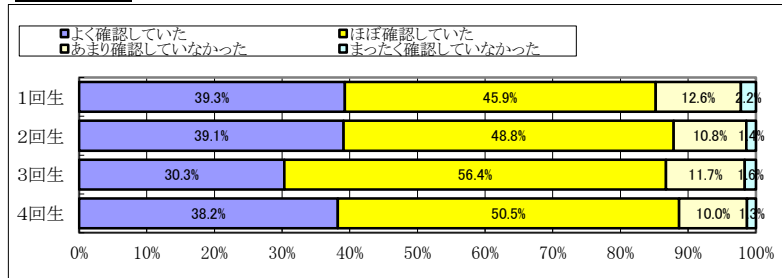
人間看護学部



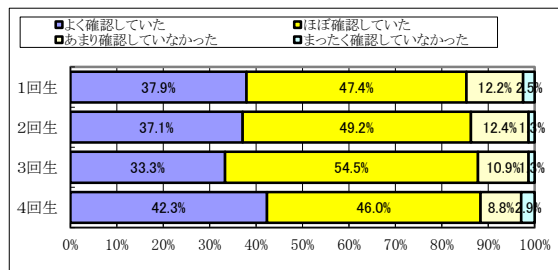
テキストや講義資料など授業で使用する教材について、全学を平均して「とても役立つ」「ある程度役立つ」9割程度の回答を占めている。一方で、否定的な回答も1割程度あることから、見直し等さらなる授業改善が望まる。

Q8 教員が学生の理解度を確認していたか

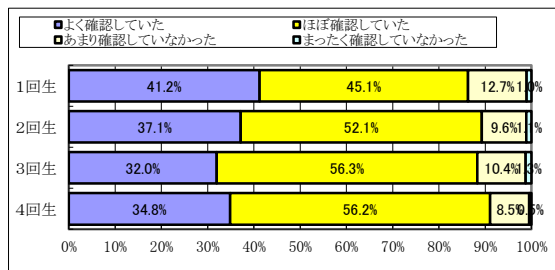
全学



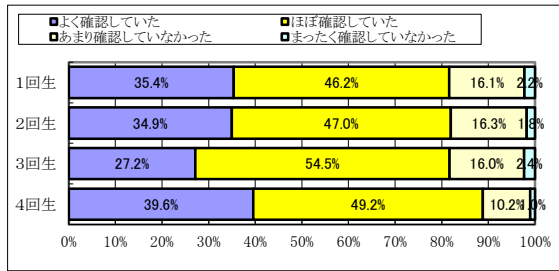
環境科学部



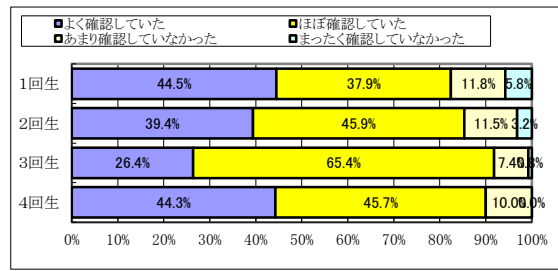
工学部



人間文化学部



人間看護学部

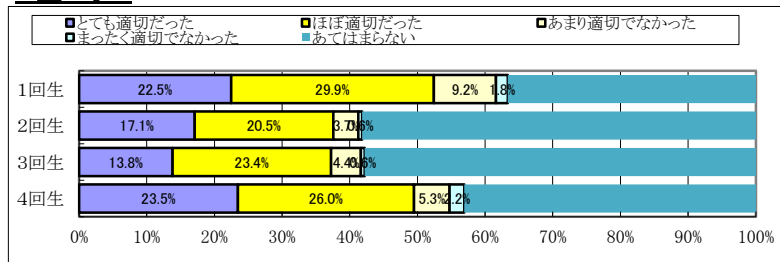


教員が学生の理解度を適宜確認していたかという問いに対しては、全学で平均して「よく確認していた」「ほぼ確認していた」という回答が8割を超えている。しかし、1、2回生では3、4回生と比較して、否定的な回答の割合が高くなっている。

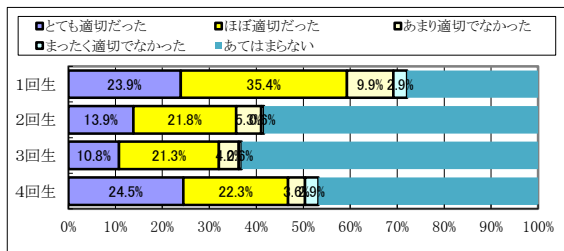
この設問については、設問4の「教員は学生とコミュニケーションをとるように努めましたか」と似た結果となっている。

Q9 教員は授業中の迷惑行為への対応は適切であったか

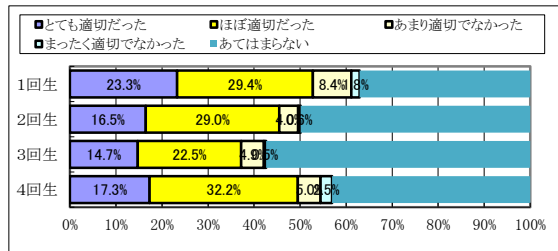
全学



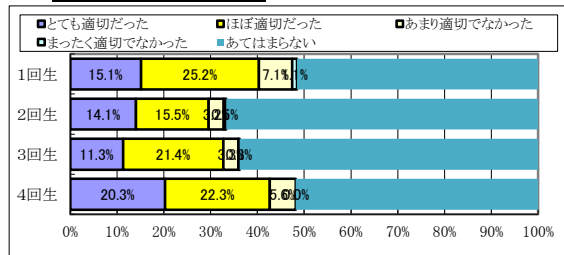
環境科学部



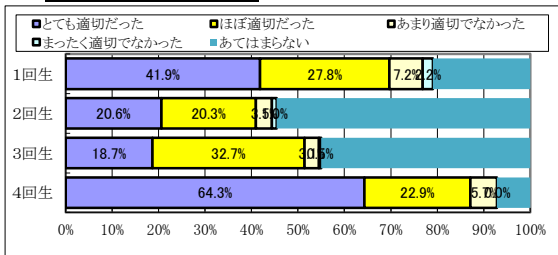
工学部



人間文化学部



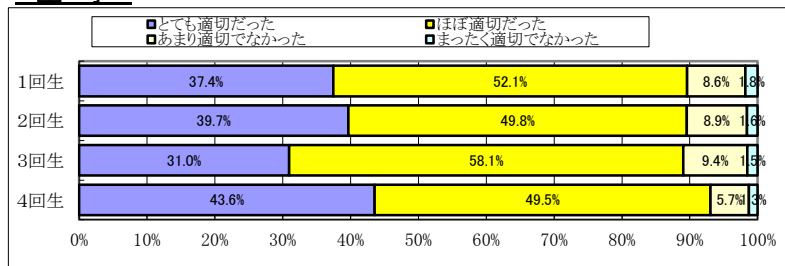
人間看護学部



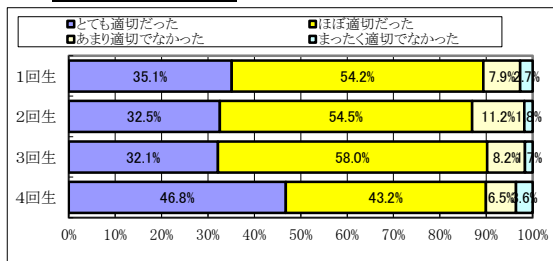
今回のアンケートから、「あてはまらない」を選択できるように選択肢を変更した。全学で迷惑行為に対して、適切な対応がとられているという回答が多くある一方で、適切な処置がとられていないと感じている学生が1割弱存在している。特に、1回生で適切な処置がとられていないと感じる割合が高かった。迷惑行為を行う学生が増えたことも考えられるが、当然のことながら入学後の早い段階で厳しく対応することが求められる。

Q10 総合的に見て教え方は適切であったか

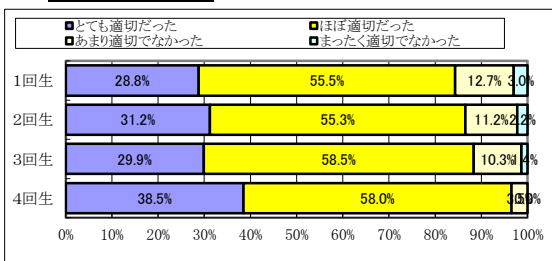
全学



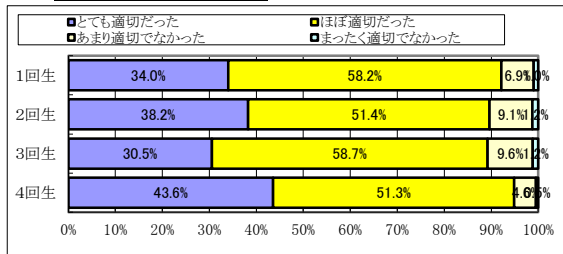
環境科学部



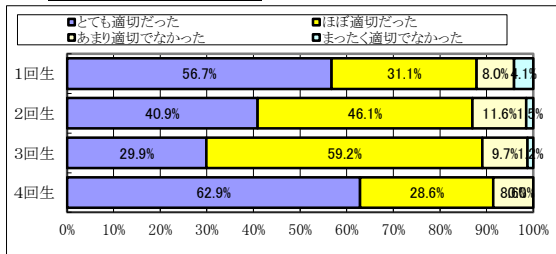
工学部



人間文化学部



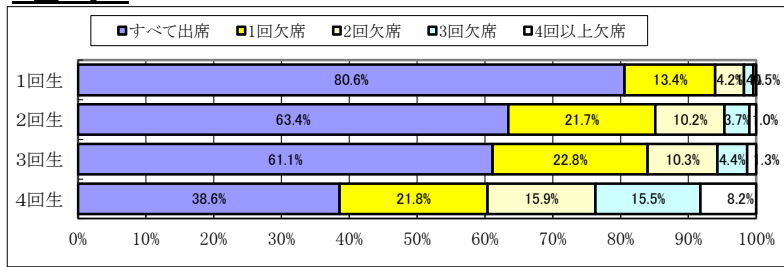
人間看護学部



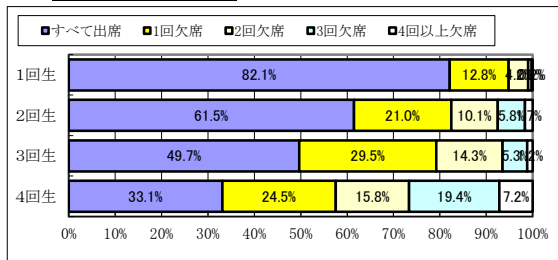
教員の教え方について、9割程度が「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。一方で、「あまり適切でなかった」「まったく適切でなかった」という回答も1割程度あることから、さらなる授業改善が望まれる。

Q11 授業への出席回数

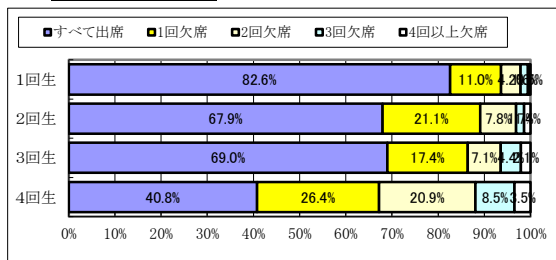
全学



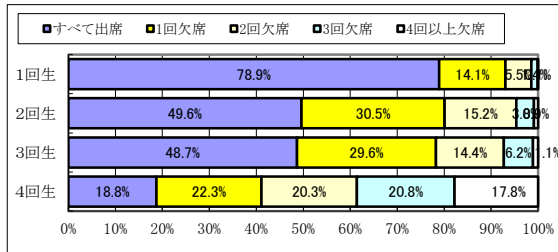
環境科学部



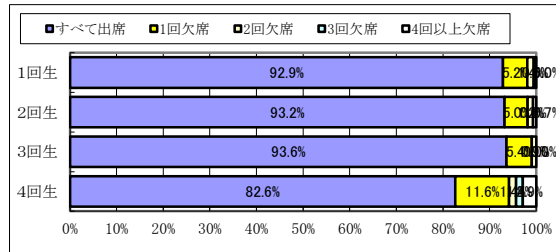
工学部



人間文化学部



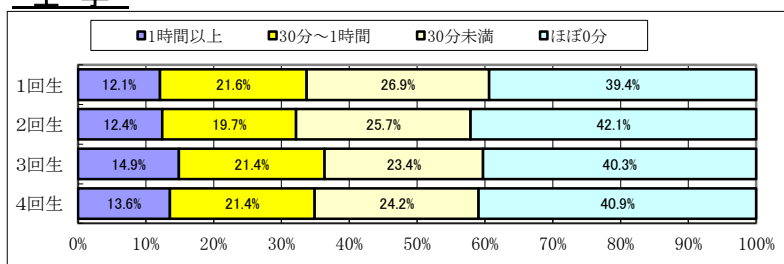
人間看護学部



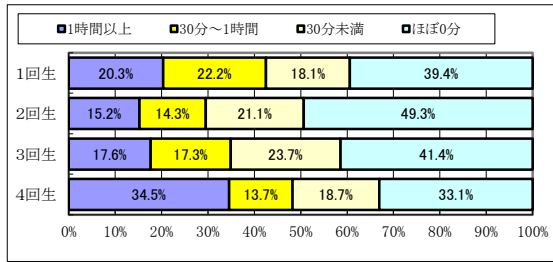
前期においては、人間看護学部を除く3学部では学年が進行していくにつれて出席率が下がる傾向にある。人間看護学部では4回生まで高い出席率を維持しているが、今年度は「1回欠席」の割合が前年度と比較して高くなっている。

Q12 この授業のための毎週の学習時間

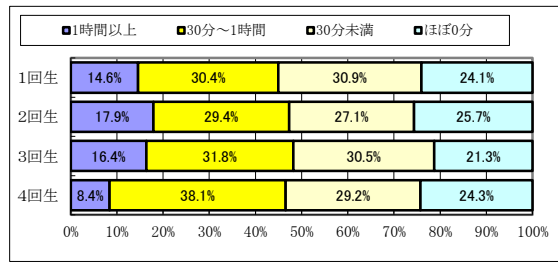
全学



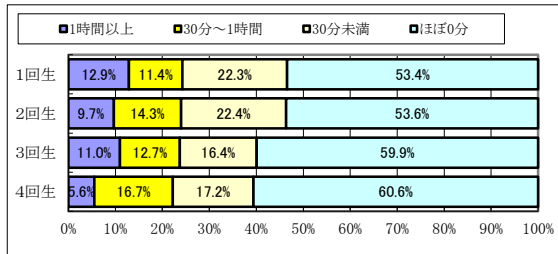
環境科学部



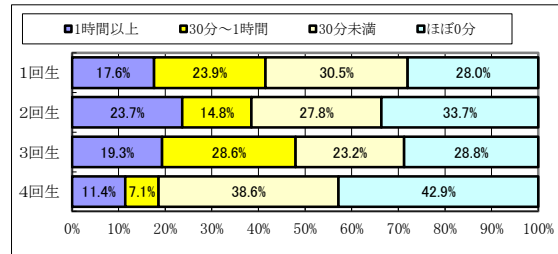
工学部



人間文化学部



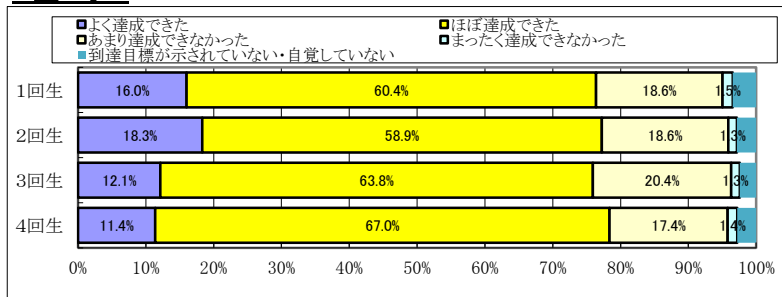
人間看護学部



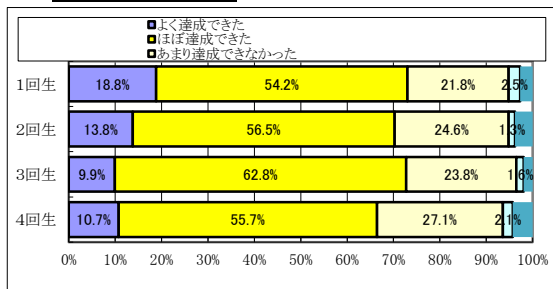
全学平均では、「1時間以上」の割合はあまり変わっていない。「30分～1時間」については、前年度前期と比較して、3～8ポイント上昇している。本年度から選択肢を一部変更したため完全な比較はできないが「30分未満」「ほぼ0分」の回答が減少しており、学習時間が伸びていることがうかがえる。

Q13 この授業の到達目標の達成度

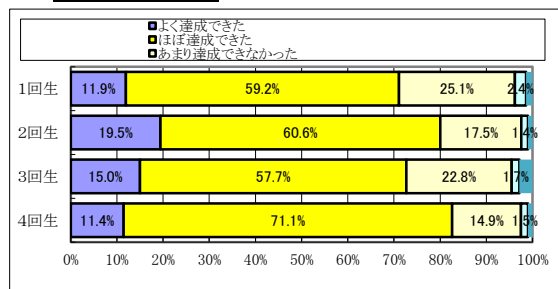
全学



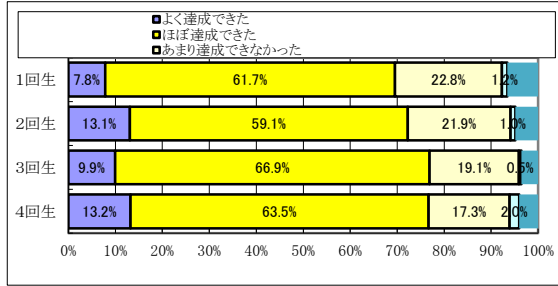
環境科学部



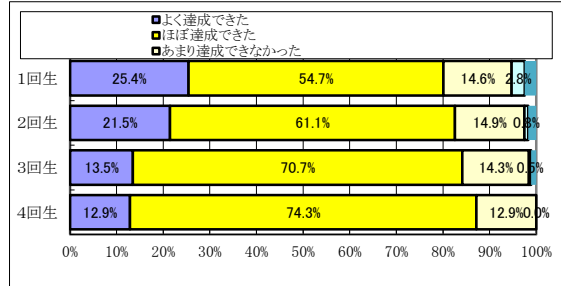
工学部



人間文化学部



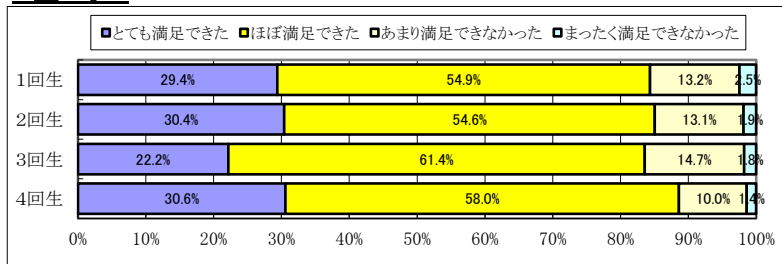
人間看護学部



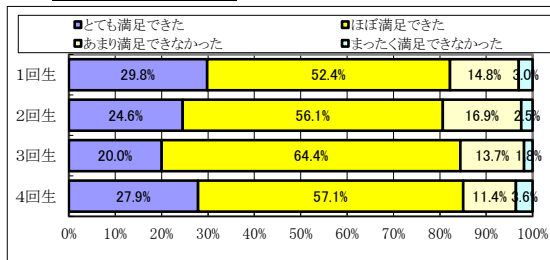
授業の到達目標の達成度について、全学を平均して8割弱が「よく達成できた」「ほぼ達成できた」と回答している。また、環境科学部を除く3学部に関しては、学年が進行するにつれて、達成度が高くなっている。

Q14 全体的な満足度

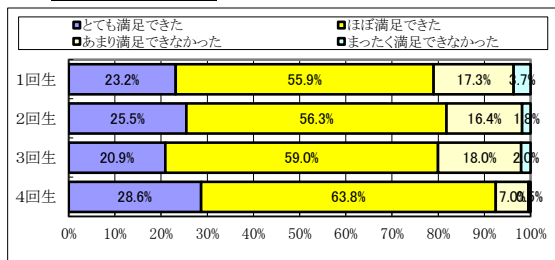
全学



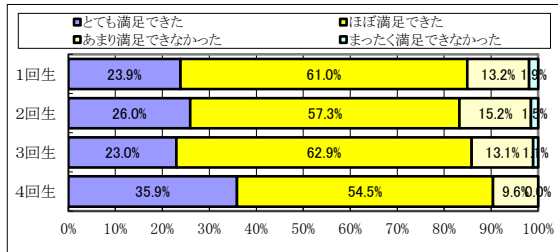
環境科学部



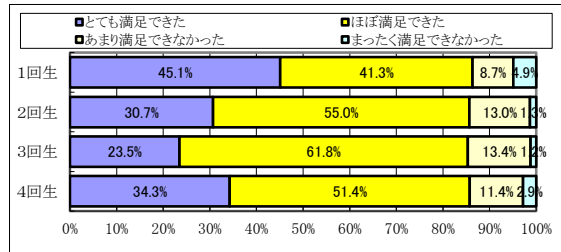
工学部



人間文化学部



人間看護学部

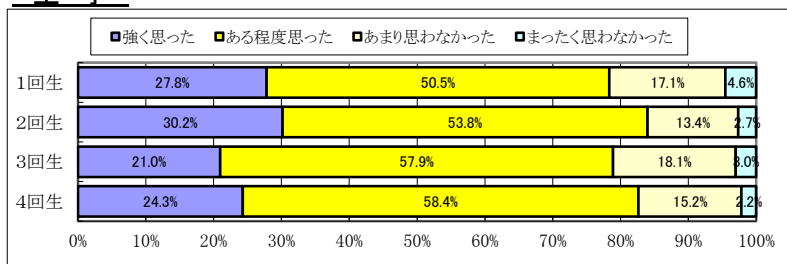


授業の満足度は、設問10「総合的にみて教え方は適切でしたか」の結果と概ね比例している。ただ、教員の教え方に比べて、授業の満足度が「とても満足できた」「ほぼ満足できた」の割合が低くなっている。教員の教え方には満足しても全体的には、満足できないことがあると思われる。

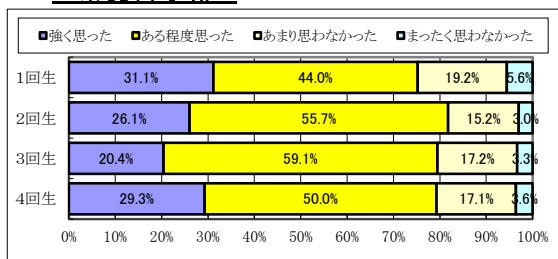
大学としては、原因を分析して、授業改善以外に学生の満足度を高める努力が必要である。

Q15 その分野を今後も継続して勉強してみたいと思ったか

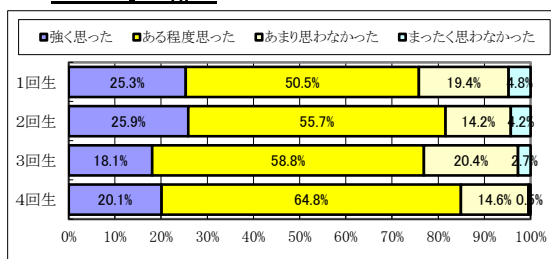
全学



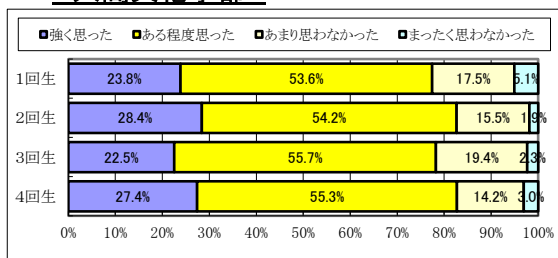
環境科学部



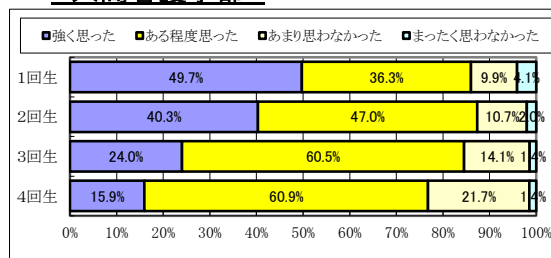
工学部



人間文化学部



人間看護学部



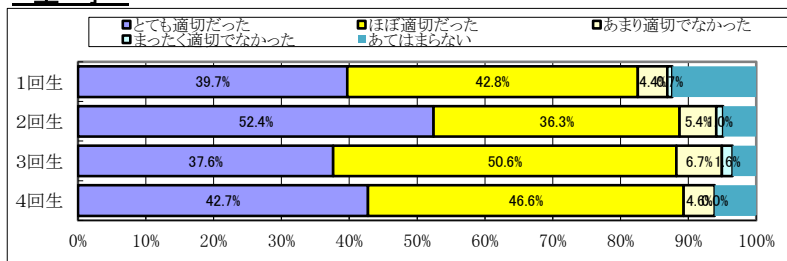
授業で学んだ内容をより深く学びたくなったかについて、例年4年生のポイントが高い傾向があり、本年度は、人間看護学部を除いて大きな変化は見られなかった。

人間看護学部では、4年生の「強く思った」「ある程度思った」と回答した割合が他の3学部と比較して、10ポイント程度低くなっている。

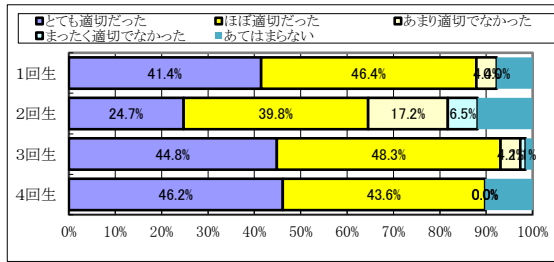
【Q16～Q19は実習・演習科目受講者のみ回答】

Q16 実習・演習に使用する用具や備品などの準備

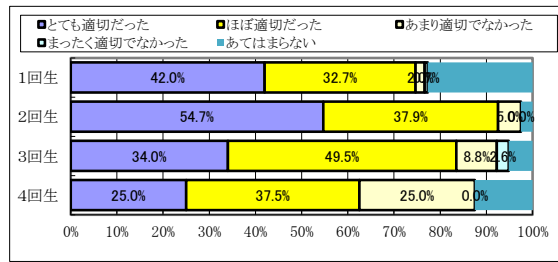
全学



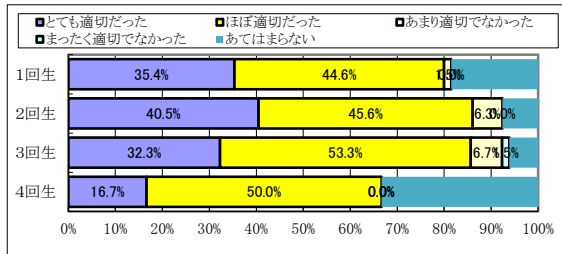
環境科学部



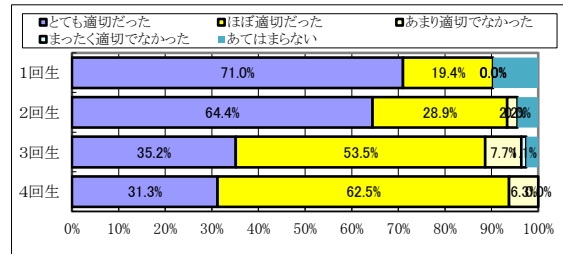
工学部



人間文化学部



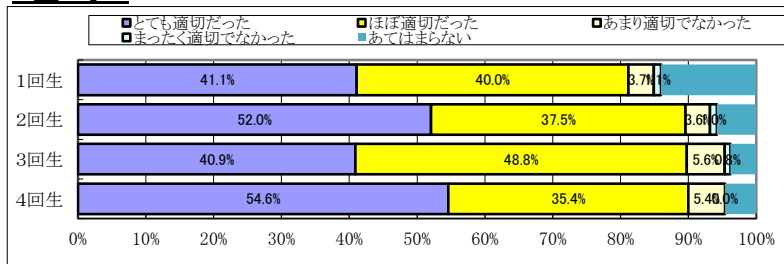
人間看護学部



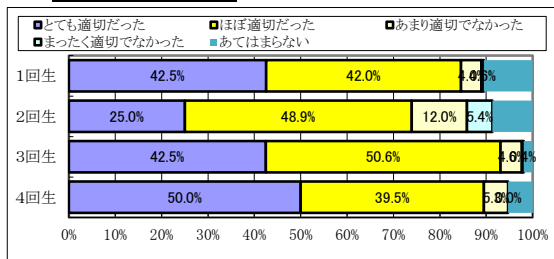
実習で使用する用具や備品の準備について、人間看護学部では1、2回生で「とても適切だった」という回答が7割程度あり、「ほぼ適切だった」も加えると9割を超えている。
環境科学部の2回生と工学部の4回生では、「あまり適切でなかった」「まったく適切でなかった」の割合が他と比較して高くなっている。

Q17 実習・演習の教員やTAの補助や対応

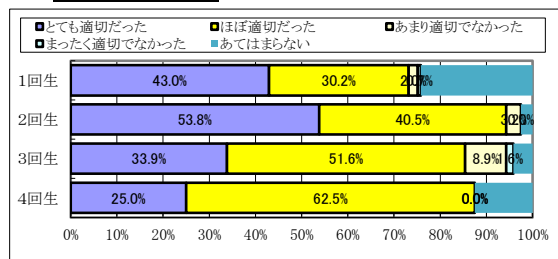
全学



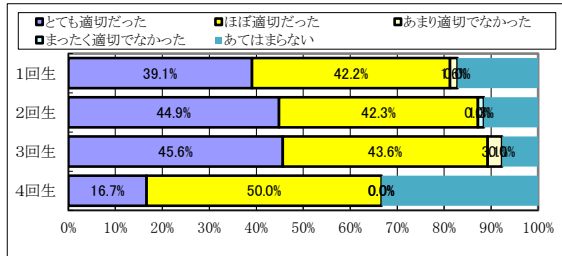
環境科学部



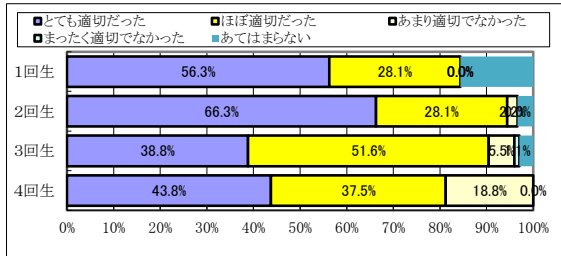
工学部



人間文化学部



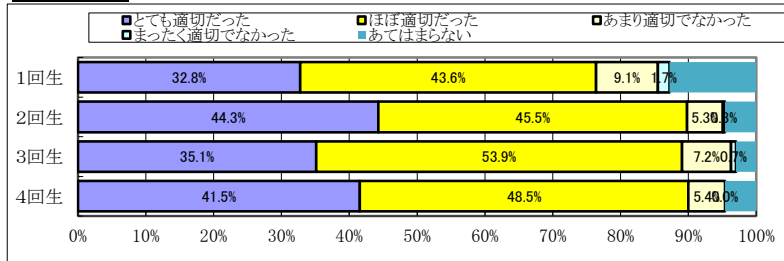
人間看護学部



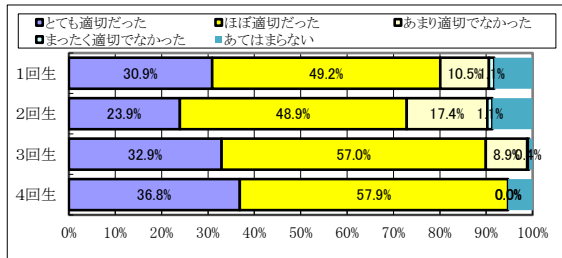
教員やTAの補助や対応について、人間看護学部の4回生を除くと、「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している割合が高くなっている。

Q18 実習・演習の進行状況や理解度の確認

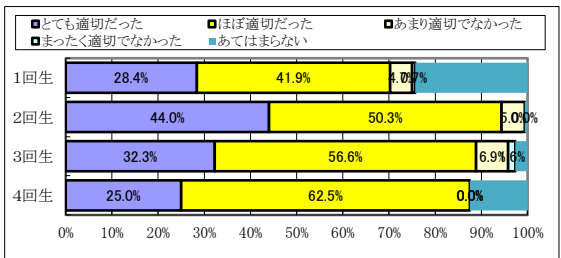
全学



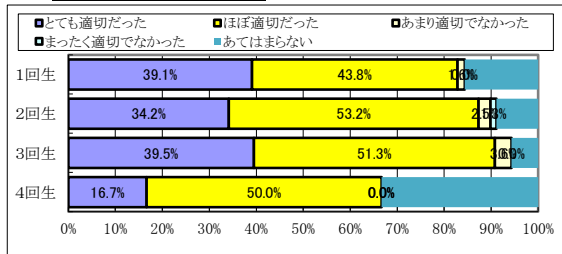
環境科学部



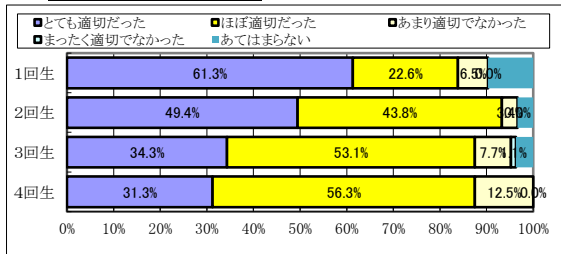
工学部



人間文化学部



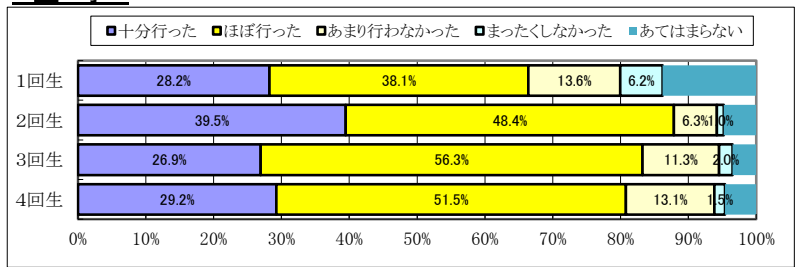
人間看護学部



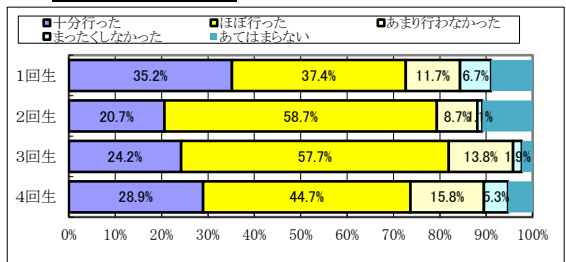
進行状況や理解度の確認については、環境科学部の1、2回生、人間看護学部の4回生を除くと、「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している割合が高くなっている。

Q19 あなたは、この実習・演習に必要な準備を行いましたか。

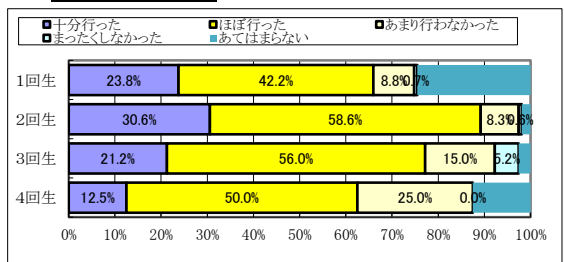
全学



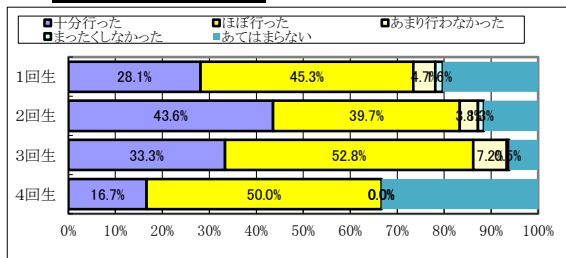
環境科学部



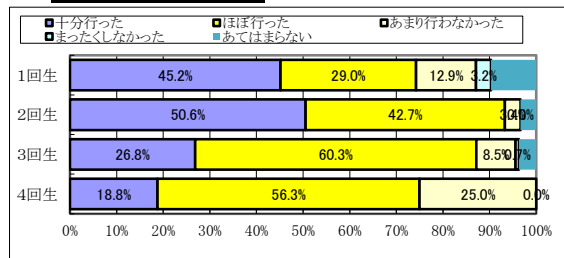
工学部



人間文化学部



人間看護学部



学生が実習・演習のために行った準備について、人間文化学部を除く3学部では、「あまり行わなかった」「まったくしなかった」と回答した割合が、やや高くなっている。